



みんなのニッポン
クロモリ 8P ㊦ set(ST11)

世界的にも数少ない前歯の無い 8ポイントアイゼン。急峻なエリア以外ではとても使いやすいアイゼンです。なだらかな山域が多い、日本独自の登山用品と言えます。



-DATA-

クロモリ鋼製。黒色電着塗装。

全長/320 mm～188 mm。

重量/570g。

税込価格/¥18,900

(本体価格¥17,500)

当社の商品はすべて **Made in japan** 表示をしています。

〒334-0062 埼玉県川口市榛松 699

TEL 048(281)1322 FAX 048(286)0866

<http://www.exp-japan.jp> e-mail: exp.offjapan@jasmine.ocn.ne.jp



「スノーシューズ」の比較フィールドテストを実施しました

日時:2016年1月

場所:木曾駒ヶ岳(中央アルプス)千畳敷カール 2,612m

[内容]

積雪量:130cm 新雪量:膝丈

テスト時間:11:15~15:00 約4時間 メンバー:2人

テスト商品 4タイプ

E0J製スノーシューズ L SN4 (反り付きタイプ+バンド)

E0J製スノーシューズ (F)L SN18 (フラットタイプ+バンド)

A社(フラットタイプ+バンド)

B社(フラットタイプ+ラチェット)



[テスト方法]

2人でそれぞれ左右に違うブランドのワカンを装着して歩行テストを実施。

前半は平地を移動してテスト。その後、急斜面での登り降りをテスト。

[所感]

携帯しての持ち運び易さは、大きさ自体はほとんど変わらない。重量に関しては

エキスパートオブジャパン製が荷物の軽量化に最適。

取り付けはバンドタイプエキスパートオブジャパン製とA社でほとんど違いはない。B社のラチェットタイプは全く別物であり、比較は難しい。

実際に使用しての浮力はテスト品の中では違いは少ない。

傾斜の強い積雪斜面において、今回の比較モデル内では、やはりパイプに反りのある

エキスパートオブジャパンのタイプが有利。登降時につま先やかかとを効果的に使える。

[その他]

パーツは各社用意をしていますが、交換はバンドタイプが容易でメンテナンスがしやすい。シーズンを越えて、長期間使用した後の劣化や状態までは今回のテストでは判断不可。今後長い経過後の様子を見て行く必要有。総合的にも積雪がもっとある場面でのテストを今後実施して行く予定。

【エキスパート製品の優れている点】

- ①唯一の日本製
- ②最軽量で持ち運びに優れる(770g・780g)
- ③サイズは他社が1~2種だが、エキスパートオブジャパン製は4種類から選べる
- ④自社製造&日本製のため全てのパーツと部品が販売及び修理対応可能
- ⑤官公庁でも使用している(防衛省・警察 等)

ワカン比較表

		エキスパートオブジャパン製	A社製	B社製			
定性的項目	価格(税抜き)	11,500円、11,750円、11,900円、12,100円	9,200円	12,500円			
	タイプ数	反り付、フラット 2タイプ	反り付、フラット 2タイプ	フラット 1タイプ			
	カラー数	1カラー:シルバー	フラット:シルバー 反り付:ブラック	1カラー:シルバー			
	サイズ種類	反り付・フラット共に M、L 2種類	フラット1サイズ、反り付M、L 2種類	1サイズ			
		M:410mm×182mm L:441mm×182mm	M:420mm×190mm L:450mm×190mm	430mm×190mm			
	重量(両足)	770g、780g	920g、960g	1,066g			
	金属素材	アルミ(本体)	アルミ(本体)、ステンレス(爪)	ジュラルミン(本体)、ステンレス(爪)			
	バンド素材	ナイロン	ナイロン	ナイロン+アクリルゴムシート			
	修理対応	可能	不明	不明			
パーツ販売	全てのパーツ販売	販売有り	販売有り				
その他特徴	唯一の日本製 アルミワカン内では最軽量モデル	爪がナットで固定されているためコーザーが自分で交換可能。パイプ表面がコートされている。	ラチェット式のため、着脱が簡単であるが、他に比較して格段に重量がある。				
		評価・コメント	評価・コメント	評価・コメント			
定性的項目	持ち運び易さ	最も軽く携帯性に優れる	◎	中間的な重さ。	○	他のワカンと比較すると最も重い。	△
	取り付け方法	標準的な取り付け方法	○	標準的な取り付け方法	○	ラチェット式	○
	デザイン	業界で広く認知された伝統のデザイン	○	パイプ表面がコートされている	○	シルバーパイプと黒いバンドで標準的	○
	斜面での安定感	他社と差は無し	○	他社と差は無し	○	他社と差は無し	○
	認知度	最も歴史があり知られている。ワカンの代名詞的素材	◎	エキスパートオブジャパン製の次に知られている	○	今シーズン発売されたばかりで、ほとんど無名。雑誌などでも取り上げられていない。	×
	アフターフォロー	ほとんどの修理可能	◎	修理可能	○	不明	—
	保障	初期不良は対応	○	初期不良は対応	○	不明	—

勤勉なメイドインジャパン スノーシューズシリーズ

日本の民具・ワカンジキを現代風にアレンジした雪上歩行器。前後を反らしたので急斜面でも上り下りが楽に行動できます。

- アイスパーンでもスノーシューズM、Lは逆さにつける必要はありません。アイゼンの下にワカンを着して行動してください。
- いずれもフレーム直径は 22mm×1mm厚。爪はステンレス製。丈夫さと、靴につけやすい固定方式が人気で国内シェア随一。サイズが大きいほどに雪に対する浮力が増します。
- M、Lは鉄製 JIS トラスト中空 4×27 3 価クロメートリベットを採用。世界一耐久性の強い雪上歩行器です。
- M、Lとも爪高は 49mm。ベルトは赤色。
- 固定バンドはユーザーが簡単に調整できるフリーサイズ。摩耗したらユーザーが交換できます。

強いぞニッポン

◆スノーシューズM(SN3)

税込価格:¥12,690(本体価格¥11,750)

◆スノーシューズM(F)フラット型(SN17)

税込価格:¥12,420(本体価格¥11,500)

- DATA -

材質:A6063 アルミ製。爪はステンレス製。

爪高:49 mm。カラー:シルバー。バンドは赤色。

サイズ:410 mm×182 mm 重量:770g



だんとうニッポン

◆スノーシューズL(SN4)

税込価格:¥13,068(本体価格¥12,100)

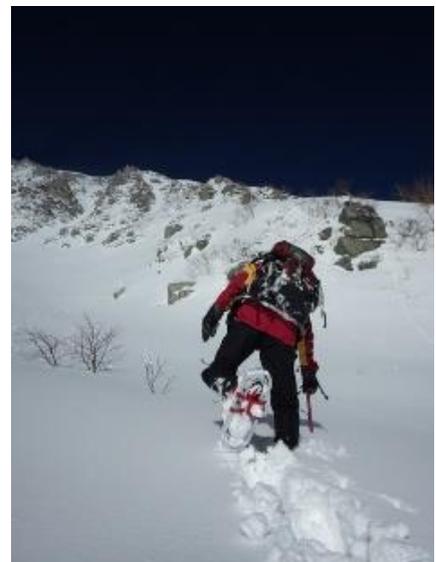
◆スノーシューズL(F)フラット型(SN18)

税込価格:¥12,852(本体価格¥11,900)

- DATA -

サイズ:441 mm×182 mm 重量:780g

その他仕様は M サイズと同じ



写真は1月のスノーシューズ・フィールドテストシーン(木曾駒ヶ岳)

やまのかたりべ
第65 ハヶ岳（西岳）

2016年、新年明けて三日目。企業の正月休みも本日最終日のところが多いのではと思い、日帰り登山を考える。今日はユーザーラッシュの渋滞を考慮して、電車で行ける雪のある山を探す。ハヶ岳の西南端西岳に決定する。

1月3日(日)

薄暗い中我が家を出発。6時06分発の電車に乗り、八王子で各駅電車松本行きに乗り換える。この電車は何度か利用しているが、八王子から直通で松本まで行けるのは大変便利である。もちろん特急あずさを使えばいいのだが、急ぎでない時は各駅電車でゆったり向かうのも楽しみの一つである。お財布にもやさしいし…

そして、電車の中はほぼ睡眠時間。

信濃境に近づくとつれ夫が急に言い出す。「駅にタクシーっているの？」今回は駅からタクシーで登山口へ向かう予定。「え？普通は駅前に停車しているでしょ？」と疑わない私に「あまいね～、地方に行くとかタクシーいないよ」…と返答が帰ってくる。夫のスマホで調べると駅の目の前にタクシー会社があることが確認。よし！！問題なし！！



9時6分 信濃境駅到着

小さいロータリーがあるが客待ちしているタクシーはいない。調べた駅前のタクシー会社は人影も無い。嫌な予感…。看板に記載されている電話番号にかけるもつながらず。駅員に聞くと「(家族経営のタクシー会社らしい)息子さんが体調を崩し、今は営業していないよ」と言われる。結局タクシーは呼ぶことになる。

次の駅から来るとのことで、信濃境駅で待つことに。手持ち無沙汰なのでカメラを取り出し駅の風景をパシャッ。

間もなくしてタクシー到着。西岳登山

口となる富士見高原ゴルフ場の駐車場までお願いします。途中富士見高原スキー場を通過、タクシーの運転手は「今年は雪が少なく、スキー場もやっとオープンしたが全面滑走は難しい状況だよ」とボヤク。スキー場の両幅は既に地肌が見えている…。

(ポイント1)

現在は信濃境駅に待機しているタクシーはないため、登山口(富士見高原ゴルフ場)へ向かうには小淵沢駅(特急電車も停車する)からタクシーで向かうのが便利のようである。事前に調べてから行かれることをお勧め。

9時40分 駐車場到着

トランクからザックを取り出し運転手にお礼。走り去るタクシーを見送り…「！！」カメラがない事に気づく。自分の不注意のせいではあるものの、がっかりする。ぼんやりした記憶からタクシーにではなくタクシーを待っているときに駅の待合室に置き忘れたことを思い出す。スマホで駅の連絡先を探す…がどこを調べても駅の電話番号は表示されておらず、「104」に電話。現在 JR 各駅の個別番号案内はなく

JR 東日本の落とし物センターの電話番号を案内される。やっと所在が確認できたのが 10 時 10 分。待合所にしっかり置き忘れていた。みつかってよかった～。

今日の 16 時 30 分までなら信濃境駅で受け取れることが判明。というわけで、急いで西岳を目指すことに。

げんなりしていた気持ちもカメラが見つかり再び晴れやかに。気落ちを引き締めて行きましょう！！

さて、カメラはないが今回はビデオカメラを持参。最近のビデオカメラは写真撮影の機能もあり今回はこのビデオカメラにとってもお世話になる。感謝感謝。

10 時 00 分 登山道入り口看板通過

舗装された道を歩いた後しばらく樹林帯を歩く。今回も登山者が殆どいない静かな登山となりそうだ。



た。(富士見町ホームページ参照)

ここから盃流しを経て編笠山方面と西岳方面に向かうコースに分かれる。標識があるので間違えることはない。

(ポイント3)

盃流し…平安時代に一枚岩に盃を流し、流れる間に句を読む貴族の遊びがあった。その一枚岩に似ていることから『盃流し』の名が付いたそうである。八ヶ岳からの清流が長い年月をかけ造りだした美しい景観である。(富士見町ホームページ参照)



10 時 30 分 不動清水到着

周囲にベンチやお手洗いが設置。

日当たりも良く、休憩場所としてはちょうどよい。不動清水はこの時点でも水が流れている。真冬には凍っているのでしょうか？

(ポイント2)

不動清水…江戸時代に八ヶ岳信仰があり、不動明王を奉ったところで、清水が湧きでた様から「不動清水」と名が付いたそうである。古くは「長命水」「御手洗場」とも呼ばれていた。



我々は西岳方面に向かう。最初は急登となるが、またすぐにゆるやかな登りになる。何度か林道を横切る。途中から残雪も現れる。念のため軽アイゼンは持参しているが、ステッキがあれば装着しなくても歩ける程度である。凍結している箇所もあるので下山時は注意が必要。

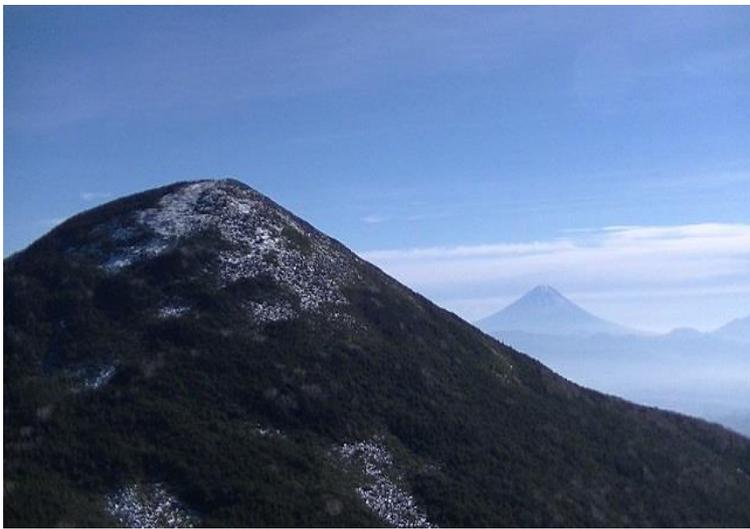


山頂に近づくと斜面も急になる。しばらく急登を歩くと広いガレ場となり展望が開ける。編笠岳、富士山が顔を出す。ここまで来れば西岳山頂ももう少し。ガレ場の斜面を登り再び樹林帯を登りつめれば西岳山頂である。

(←山頂直下のガレ場)

12時40分 標高2,398m 西岳山頂到着

青い空と雪をまとった八ヶ岳の山々が美しい。本日は遠くに雪をまとった雄大な山々も楽しむことができた。

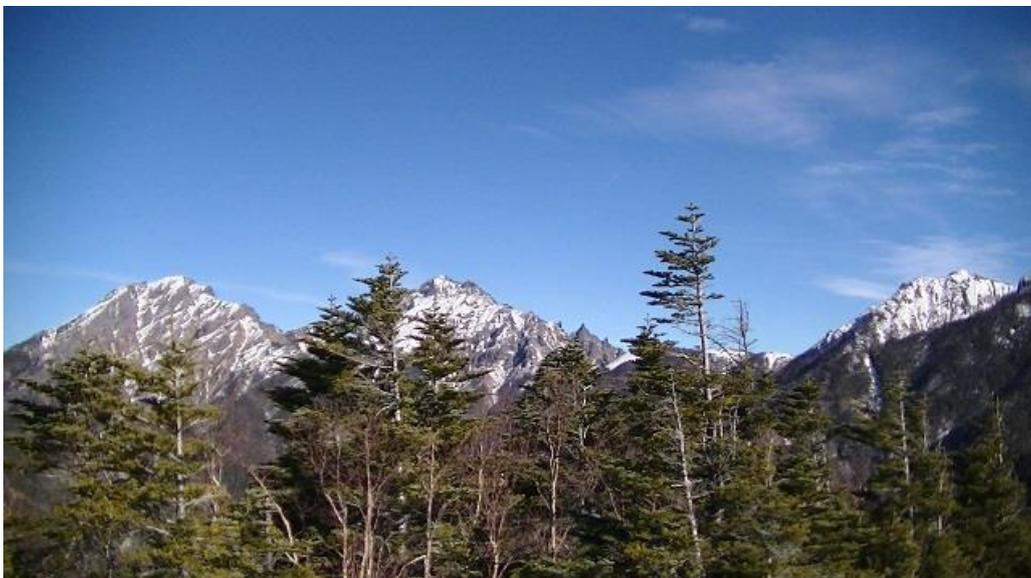


(編笠山と富士山)

(西岳山頂より遠くに南アルプス)



昼食は、年末に食べ損ねたそば。お湯が沸くまで景色を堪能し、温かいおそばで心も体もホクホク。



(西岳山頂より赤岳方面の山々)

当初は編笠岳も経由して下山しようかと考えていたのだが、今回は信濃境駅にカメラを取りに行くと言う予定外のスケジュールになってしまったため、時間の関係でこのまま下山することに…。時間があればゆっくり山頂で過ごしたかったのだが…。

13時30分 後ろ髪惹かれながら早々に山頂を後にする。

下りは残雪地帯注意しながら下山。夫が一度滑って転倒した。登りよりも慎重に！！

14時45分 不動清水到着

15時10分 登山口到着

ここからスキー場まで歩きスキー場からタクシーを呼ぶ。

信濃境駅にて忘れ物のカメラを受け取る。本日の任務を全て無事終えた気分。

教訓 タクシーの所在は事前に調べ、カメラケースはザックに最初から装着せよ！

今回改めて学びました…。

10時00分 富士見高原ゴルフ場登山口出発

10時30分 不動清水到着

12時40分 西岳山頂到着

13時30分 西岳山頂出発

14時45分 不動清水到着

15時10分 富士見高原ゴルフ場登山口到着

文責:松田留美 同行者 松田次郎

今回の山行で活躍してくれた便利アイテム。他社には無いアイデアステッキです。

たよれるニッポン 3段ピックステッキ(S10)

ヘッドはクロモリ鋼、焼き入れ済みのピックル形状。ただしピックルではなく、あくまでもステッキです。



カラー(2色)・ワイン 最短 532mm×最長 1007mm重量 325g

……シルバー 最短 499mm×最長 965mm 重量 320g

(バスケット大、小、ピックカバー、石突プロテクター付)

税込価格:¥12,960 (本体価格¥12,000)

3段ピックステッキにはバスケット大が取り付けられます。(直径 96φ、押込式)
バスケット大をつけるとステッキが雪にもぐらずに行動できます。

信頼のメイドインジャパン クロモリ8P㊦~14P㊦

様々な登山靴にフィットし、軽量で頑丈なアイゼンシリーズです。



8P㊦~14P㊦サイズ調整時の注意

8P~14Pのサイズ調整をする際の注意を明記します。

○靴サイズより緩めにサイズ調整をしないで下さい。8P~14Pは靴の前後に隙間がないようサイズ調整可能です。サイズ調整を緩めにすると、行動中アイゼンが左右に動き、結果ナットやボルトの緩みの原因となります。2014年春より、安心・安全向上のため、緩み防止の六角ナットをつけてダブルナットにしてありますが、8P~14Pは靴の前後に隙間を無くすことで、アイゼン全体の緩みを防げます。

○サイズ調整時にボルトをしっかり締め付けない場合は論外です。ジョイントを長め(緩め)にサイズ調整をするとアイゼンが左右に振られボルトを紛失します。

みんなのニッポン

クロモリ8P㊦ set (ST11)

クロモリ鋼製。黒色電着塗装。

全長/320 mm~188 mm。

重量/570g。

税込価格/¥18,900

(本体価格¥17,500)



誇りのニッポン

クロモリ10P㊦ set (ST12)

全長/325 mm~215 mm。重量/660g。

その他の仕様8Pと同じ。

税込価格/¥20,088

(本体価格¥18,600)



物造りのニッポン

クロモリ12P㊦ set (ST13)

全長/325 mm~230 mm重量/690g。

その他の仕様8Pと同じ。

税込価格/¥20,520

(本体価格¥19,000)



すごいぞニッポン

クロモリ14P㊦ set (ST14)

全長/325 mm~230 mm。重量/705g。

その他の仕様8Pと同じ。

税込価格/¥22,464

(本体価格¥20,800)

